

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石 松次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理局长 (氏名) 赤塚 幸 (TEL) 025-267-4111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,213	0.4	57	—	80	—	58	—
25年3月期第1四半期	4,194	3.8	△54	—	△32	—	△33	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 4百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △194百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.72	—
25年3月期第1四半期	△5.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	19,935	13,233	59.9
25年3月期	21,045	13,269	56.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 11,937百万円 25年3月期 11,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,513	2.3	180	—	195	—	36	—	6.09
通期	21,278	0.1	774	27.9	792	24.7	365	36.2	60.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,000,000株	25年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	694株	25年3月期	640株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,999,339株	25年3月期1Q	5,999,360株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（6）重要な後発事象	10
5. （参考）四半期財務諸表(個別)	10
（1）個別経営成績	10
（2）個別財政状態	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待を受けた円安や株高の基調が継続したことにより、企業の設備投資や個人消費に拡大の兆しが見られ、景気回復への期待が高まりました。しかし、新興国経済の成長鈍化や円安の進行に伴う輸入物価上昇の動きもあり、景気は依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めた結果、当第1四半期における連結売上高は42億1千3百万円（前期比100.4%）となり、前年同期に比べ1千8百万円の増収となりました。また、営業費用は前年同期に比べ9千3百万円減少しました。利益面におきましては、営業利益は5千7百万円の利益計上（前期は5千4百万円の損失計上）、経常利益は8千万円の利益計上（前期は3千2百万円の損失計上）となり、四半期純利益では5千8百万円の利益計上（前期は3千3百万円の損失計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

〔放送事業〕

放送事業におきましては、ラジオ収入ではスポット収入が前年を下回ったものの、県内のタイム収入が好調で、前年を僅かに上回りました。また、テレビ収入では、県外でやや苦戦を強いられましたが、県内のスポット収入が好調に推移し、全体では前年を上回りました。その他の収入では、「プロ野球横浜―巨人戦」を当期は2日間にわたり開催するなど各種事業を展開したことにより、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は17億4千3百万円（前期比107.1%）となり、営業利益では1億7千3百万円の計上（前期比182.8%）となりました。

〔情報処理サービス事業〕

情報処理サービス事業におきましては、前期にあった大型機器の更新時期が7月以降にずれ込んだことなどにより売り上げは減少しましたが、県外でのソフト開発収入が増えたことで、利益面では前年に比べ改善しました。

この結果、当第1四半期の売上高は20億2千7百万円（前期比93.6%）となり、営業損益では1億2千6百万円の損失計上（前期は1億4千5百万円の損失計上）となりました。

〔ホテル及び飲食事業〕

ホテル及び飲食事業におきましては、新潟市内におけるホテル間の競争が依然として厳しいなか、インターネット予約による個人宿泊客が増加しましたが、客単価が下がり宿泊部門の売上高は前年同期を下回りました。また、レストラン部門、宴会部門とも減収となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は2億7千3百万円（前期比94.7%）となり、営業損益では8百万円の損失計上（前期は1千2百万円の損失計上）となりました。

〔建物サービスその他事業〕

建物サービスその他事業におきましては、報道制作部門が新たに加わったことで売上が大きく伸びたことに加え、施設管理部門においても、管理ビルの設備工事や大型レジャー施設の空調工事などを受注したことにより、大幅な売上増となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は3億3千5百万円（前期比137.1%）となり、営業利益は1千8百万円の計上（前期比262.6%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は199億3千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億1千万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が80億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千4百万円減少しております。これは主に現金及び預金が6億7千9百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が22億3千5百万円減少したことなどによります。固定資産では、118億8千万円となり、前連結会計年度末に比べて5千5百万円の減少となりました。これは主に無形固定資産が1億1千6百万円増加したものの、有形固定資産が1億1千7百万円、投資その他の資産が5千4百万円減少したことによるものであります。

負債の部では、流動負債が39億9千万円となり、前連結会計年度末に比べて9億4百万円減少しております。これは主に賞与引当金が2億1千5百万円増加いたしましたが、未払金で8億8千8百万円、短期借入金で1億2千4百万円減少したことによるものであります。固定負債は27億1千万円となり、前連結会計年度末に比べて1億7千万円の減少となりました。これは主に長期借入金が6千8百万円、リース債務が5千2百万円減少したことによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加2千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少2千6百万円、少数株主持分の減少3千7百万円により132億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて3千5百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は59.9%となり、前連結会計年度末に比べて3.2ポイント増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降の見通しにつきましては、収益の柱であるテレビスポット広告の動向が不透明であることなどから、先行きに関しては楽観視できない状況と思われれます。

このような見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。また、引き続き各事業部門において、さらなるコスト管理に努めます。

以上の見通し及び方針に基づき、業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,170,878	3,850,766
受取手形及び売掛金	4,826,027	2,590,408
有価証券	231,161	311,203
商品	80,085	128,155
原材料	11,035	27,255
仕掛品	211,381	479,137
繰延税金資産	191,095	239,843
その他の流動資産	399,380	435,140
貸倒引当金	△12,063	△7,881
流動資産合計	9,108,981	8,054,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,263,200	3,223,475
土地	2,312,815	2,312,815
リース資産（純額）	1,188,380	1,127,196
その他（純額）	895,591	879,371
有形固定資産合計	7,659,987	7,542,859
無形固定資産		
	466,297	582,443
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050,363	1,952,353
繰延税金資産	780,172	796,039
その他の投資及びその他の資産	1,022,072	1,049,627
貸倒引当金	△42,387	△42,337
投資その他の資産合計	3,810,221	3,755,682
固定資産合計	11,936,507	11,880,985
資産合計	21,045,488	19,935,014

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	2,648,810	1,760,083
短期借入金	909,840	785,340
賞与引当金	408,639	624,038
その他の流動負債	927,688	820,822
流動負債合計	4,894,979	3,990,284
固定負債		
長期借入金	1,288,290	1,219,330
リース債務	856,359	803,841
退職給付引当金	325,941	312,863
役員退職慰労引当金	280,097	247,426
アナログ放送設備解体引当金	32,118	31,202
その他の固定負債	98,221	96,251
固定負債合計	2,881,027	2,710,915
負債合計	7,776,006	6,701,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,575,638	11,603,957
自己株式	△444	△473
株主資本合計	11,880,944	11,909,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,924	27,825
その他の包括利益累計額合計	53,924	27,825
少数株主持分	1,334,612	1,296,754
純資産合計	13,269,482	13,233,814
負債・純資産合計	21,045,488	19,935,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,194,713	4,213,264
売上原価	2,978,273	2,955,702
売上総利益	1,216,440	1,257,561
販売費及び一般管理費	1,271,036	1,199,980
営業利益又は営業損失(△)	△54,595	57,581
営業外収益		
受取利息	416	451
受取配当金	25,247	24,000
受取賃貸料	1,296	1,554
その他	5,700	9,418
営業外収益合計	32,660	35,425
営業外費用		
支払利息	9,000	8,851
その他	2,050	3,997
営業外費用合計	11,051	12,848
経常利益又は経常損失(△)	△32,986	80,158
特別利益		
固定資産売却益	31,890	—
投資有価証券売却益	—	5,275
その他	—	9,342
特別利益合計	31,890	14,617
特別損失		
固定資産除却損	1,378	2,676
その他	430	2,730
特別損失合計	1,808	5,406
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,905	89,369
法人税等	82,681	58,637
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,586	30,731
少数株主損失(△)	△51,870	△27,584
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,716	58,315

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△85,586	30,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,529	△26,343
その他の包括利益合計	△108,529	△26,343
四半期包括利益	△194,116	4,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,022	32,216
少数株主に係る四半期包括利益	△52,093	△27,829

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,597,669	2,148,673	280,240	168,130	4,194,713	—	4,194,713
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,226	18,193	8,395	76,408	133,223	△133,223	—
計	1,627,895	2,166,867	288,635	244,538	4,327,937	△133,223	4,194,713
セグメント利益又は損失 (△)	95,081	△145,686	△ 12,205	7,047	△ 55,761	1,166	△ 54,595

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,712,928	2,011,786	265,175	223,373	4,213,264	—	4,213,264
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,931	15,782	8,251	111,939	166,905	△166,905	—
計	1,743,860	2,027,568	273,427	335,313	4,380,170	△166,905	4,213,264
セグメント利益又は損失 (△)	173,850	△126,991	△ 8,898	18,507	56,467	1,114	57,581

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. (参考)

平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,743	7.1	173	82.0	216	61.1	125	36.7
25年3月期第1四半期	1,627	2.9	95	—	134	—	92	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	20 97	—
25年3月期第1四半期	15 34	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
26年3月期第1四半期	11,631	9,681
25年3月期	11,556	9,611